

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新生児から木製玩具に触れ合うウッドスタート環境整備事業
事業主体 (連絡先)	木育フェスティバル実行委員会 (事務局 塩尻商工会議所)
事業区分	(6) ウ 森林づくりと林業の振興・(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,673,913円 (うち支援金: 1,764,000円)

### 事業内容

#### 1: 新生児に対しての誕生祝い品としての木製玩具の贈呈

(贈呈式) 平成27年8月20日(木) 12:45~

新生児数440人 応募数298人(1月末現在)

#### 2: 塩尻オリジナル木育パッケージ製作・活用

- ・木のおもちゃ 148種類 201個購入
- ・収納ボックス 10個作成
- ・ロゴマーク・シンボルマークの選考及びカットシート作成
- ・木育フェスティバルでのお披露目・保育園巡回(1か所 8回)

#### 3: 木育インストラクター養成講座の開催

平成27年8月19日(水) 9:30~15:30

長野県林業総合センターにて 講師 福島計一氏 28名受講

#### 4: 木製玩具の販売用案内パンフレットの作製・販路の開拓

掲載可能な103種類の木のおもちゃの通販カタログ400部印刷



【木育パッケージ「しおじりウッドトイボックス」】

#### 【目標・ねらい】

- ①ウッドスタート事業及び木育パッケージによる木とのふれあい創出
- ②木育推進を担う人材の育成
- ③木製玩具の販路拡大
- ④全国木育サミットでの取組み PR

### 事業効果

- ①現在70%を超える新生児に対して木のおもちゃが贈呈され、市のウッドスタート事業も一定の成果を出した。またフェスティバルでお披露目した木育パッケージも、多くの来場者に木と触れ合せて遊んでもらい、保育園の巡回今年度1カ所しか巡回できなかったが、ニーズもあり、貸出の体制も整ったので、次年度以降継続して行っていく。
- ②各保育園に1名木育の素晴らしさを伝えるインストラクターが誕生して、今後の木育パッケージの運用に大きな力となる。
- ③東京おもちゃ美術館のオフィシャルショップ Apty での通信販売が可能になったことで地元の木作家さんたちの販路が確保できた。
- ④全国から約600名に参加頂いたサミットにおいて、地元担当の5つのワークショップで実行委員会の取組みが発表でき、今回の支援金で製作した「しおじりウッドトイボックス」の一部も展示し、多くの来場者に高評価を頂いた。

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

数字上の目標達成率 76%

- |                |         |
|----------------|---------|
| ①誕生祝い品贈呈者数     | 実績 102% |
| ②木育パッケージ巡回数    | 実績 35%  |
| ③木育インストラクター認定数 | 実績 93%  |

その他全国木育サミットでこの取組みを PR でき、他の自治体などからも問い合わせを頂くほど高い評価を得られ、地域を超え全国的な効果が得られた。

### 今後の取り組み

2年間の継続事業としてこの木育推進事業を行い、新生児のウッドスタート事業に関しては、現在の申請状況からして今後もニーズが伸びていく可能性があるため、引き続き市と連携を取り、定期的にプレゼントするおもちゃをリフレッシュさせながら継続していく。パッケージに関しては、「しおじりウッドトイボックス」が完成し、様々な場面で木のおもちゃを提供できるようになったので、フェスティバルや保育園・幼稚園だけでなく幅を拡げて木と触れ合える空間の提供をしていく。木育インストラクターは、各保育園の活動の中で取り組んで頂く他、フェスティバルや他のイベントへの参加を促し、新しい刺激を与えながらマンネリ化しない活動の仕組みを作っていく。販売に関しては、とりえず通信販売を突破口として、おもちゃ美術館の常設店舗での販売へ結び付け、実行委員会としてもフェスティバル含めイベントでの販売を行っていく。全国木育サミットも成功し、ここまでの塩尻の木育の取り組みは一定の終着点を迎えた。今後は木育の根幹である間伐を含めた実際の森林問題を考え、それを改善するためのどのように行動するかを実行委員会として検討していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある